

平成19年3月時刻改正 新しい輸送サービスのご案内

平成18年12月22日
日本貨物鉄道株式会社

JRグループでは平成19年3月18日(日)にダイヤ改正を実施いたします。
このたび、ダイヤ改正の内容について調整が終了しましたのでお知らせいたします。
この資料は、貨物列車の改正内容についてまとめたものです。

改正省エネ法の施行などを契機に産業界における物流の環境負荷低減への取り組みが本格化しているなか、JR貨物では、自らが新しい流れを積極的に創り出していく決意を持って、「お客様に選択される輸送サービス」の提供を目指し「**安全・安定輸送の確保**」及び「**輸送品質の改善**」を行っていきます。このたび、平成19年春実施のダイヤ改正の概要がまとまりましたので、ご案内いたします。

長編成（26両）コンテナ列車が初めて九州まで乗り入れます

山陽線輸送力増強事業の完成によって、現在西岡山駅までしか運転できなかった長編成（26両）コンテナ列車が、今回始めて九州（北九州貨物ターミナル駅）に乗り入れることになりました。これに合わせて、関東・東海・関西地区と岡山・広島・九州地区間で長編成（26両）列車を新たに19本運転し、引き続き輸送需要が高く推移する同エリア間において、輸送力の拡大を図ります。

なお、上記事業により鉄道コンテナ輸送力は年間25万トン増強される見込みで、二酸化炭素排出量は年間約3.6万トンの削減効果があります。

現在、西岡山駅以西のエリアは最大24両で運転しています。

【新たに長編成化する列車】

地帯間	列車番号	発駅	着駅	改正		記事
				新列車番号	長編成区間	
関東 九州	1073	東京(夕)	鹿児島(夕)	5071	東京(夕) <u>北九州(夕)</u>	
	2060～ 1061	宇都宮(夕)	福岡(夕)	2060～ 5051	梶ヶ谷(夕) <u>北九州(夕)</u>	
	1077～ 3077	東京(夕)	福岡(夕)	5073～ 3073	東京(夕) <u>北九州(夕)</u>	
九州	1082	鹿児島(夕)	東京(夕)	5050	<u>北九州(夕)</u> 東京(夕)	
関東	5096	熊本	東京(夕)	5070	<u>北九州(夕)</u> 東京(夕)	
東海 九州	2057	名古屋(夕)	福岡(夕)	5059	名古屋(夕) <u>北九州(夕)</u>	
九州 東海	2056	福岡(夕)	名古屋(夕)	5058	<u>北九州(夕)</u> 名古屋(夕)	
関西 九州	3056～ 2055	安治川口	福岡(夕)	3058～ 5057	梅田 <u>北九州(夕)</u>	
九州	2054～ 3055	福岡(夕)	梅田	5056 ～3057	<u>北九州(夕)</u> 梅田	
関西	3088～ 2088	福岡(夕)	姫路貨物	3086 ～5086	<u>北九州(夕)</u> 姫路貨物	
関東 広島	53	東京(夕)	広島(夕)	5061	東京(夕) 広島(夕)	
	1075	東京(夕)	福岡(夕)	5053	東京(夕) 幡生操	
	1079	越谷(夕)	広島(夕)	5067	梶ヶ谷(夕) 広島(夕)	
広島	52	広島(夕)	東京(夕)	5060	広島(夕) 東京(夕)	
関東	1074	福岡(夕)	東京(夕)	5052	幡生操 東京(夕)	
関東 岡山	1087	東京(夕)	東水島	5081	東京(夕) 西岡山	
岡山	1086	東水島	東京(夕)	5080	西岡山 東京(夕)	
関東	1078	下関貨	東京(夕)	5066	西岡山 東京(夕)	
関西 関東	1058	姫路貨物	東京(夕)	5064	姫路貨物 東京(夕)	

下線は九州に乗り入れする長編成列車

5096 列車は、現行西浜松から東京(夕)間長編成列車として運転

安定輸送体制の一環として日本海縦貫ルートにおいて、フェリーを利用した通年輸送を開始します

新たな試みとして、高速フェリーを通年で利用することにより、異常時における代替輸送の確保及び秋冬期における輸送力増強を行います。輸送区間としては、日本海縦貫線ルートを対象とし、札幌貨物ターミナル駅 梅田駅間のコンテナ輸送を、トレーラー&フェリー（小樽港 舞鶴港間）&トレーラーにて実施します。輸送力は、片道日発シャーシ2台（12ftコンテナ片道6個）とし、異常時には輸送力を拡大します。



コンテナ列車の輸送力を増強します

輸送需要の強い区間において、コンテナ列車の編成両数を増やし、輸送力の増強を図ります。

区間	列車番号	発駅	着駅	現行 編成 両数	改正		記事
					編成 両数	増強区間	
関東 九州	7051	東京(夕)	福岡(夕)	20	22	東京(夕) 福岡(夕)	
九州 関東	7050	福岡(夕)	東京(夕)	20	22	福岡(夕) 東京(夕)	
関東 関西	1061	東京(夕)	安治川口	20	22	東京(夕) 安治川口	
関西 関東	1060	安治川口	東京(夕)	20	22	安治川口 東京(夕)	
金沢 新潟	4071	百済	新潟(夕)	20	21	金沢(夕) 新潟(夕)	
金沢 九州	3090 ~ 2075	富山貨物	福岡(夕)	20	21	南福井 福岡(夕)	
九州 金沢	2074 ~ 3091	福岡(夕)	富山貨物	20	21	福岡(夕) 金沢(夕)	

東北(水沢駅)行きの輸送力を拡大すると共に、名古屋地区からの直通輸送ルートの新設します

近年、自動車部品輸送の需要の高まりにより隘路区間となっている東北線水沢駅行きの輸送力を増強すると共に、主要発地である名古屋地区からの直通列車を新設します。

【水沢駅行き輸送力】

現 行			改 正			
列車番号	発駅	輸送力	列車番号	発駅	輸送力	記事
2079	宮城野	70	2079	宮城野	40	
2078	盛岡(夕)	20	2078	盛岡(夕)	20	
			3096～1096 ～3083	名古屋(夕)	50	停車駅に水沢を 追加(新設)
				西浜松	10	
合計		90	合計		120	+30 個増

輸送力はコンテナ 12ft 換算個数

翌日配達圏の拡大など、リードタイムの短縮を図ります

主要都市及び地方中核都市間のコンテナ輸送について、リードタイムを短縮します。

区 間	現 行	改 正	記 事
東京(隅田川) 弘前	翌々日 AM	翌日 AM	東青森からトラック代行
名古屋南貨物 直江津(黒井)	翌々日 AM	翌日 AM	直通ルート新設
梅田 北九州(夕)	翌日 PM	翌日 AM	直通ルート新設
倉敷(東水島) 福岡(夕)	翌日 AM	翌日早朝	直通ルート新設
広島(夕) 南福井	翌日 AM	当日 PM	直通ルート新設

大型コンテナ輸送のネットワークを拡大します

10トントラックの貨物をそのまま鉄道輸送へシフト可能な31ftコンテナや、重量コンテナ(ISO24トンコンテナ等)が積載可能な貨車の投入を積極的に進め、大型コンテナネットワークの拡大を図ります。

【新たな大型・重量コンテナ輸送区間及び増強区間】

区間	列車番号	改正	記事
東水島 福岡(夕)	3092～2081	㊦106形式 直通台車投入	直通ルート新設
新潟(夕) 北九州(夕)	3092～2073	㊦106形式 直通台車投入	直通ルート新設
名古屋(夕) 富山貨物・新潟(夕)	85～4085 ～4095	㊦106形式 増車	輸送力拡大
新潟(夕) 秋田貨物	2091	㊦106形式 直通台車投入	直通ルート新設

秋田貨物 新潟(夕)	2090	コキ106形式 直通台車投入	直通ルート新設
名古屋(夕) 八戸貨物	3096～1096 ～3083	コキ106形式 直通台車投入	直通ルート新設
千葉貨物 東京(夕)	4096	コキ106形式 台車投入	輸送力拡大
東水島 富山貨物	2076～3097	コキ106形式 直通台車投入	直通ルート新設

機関車・コンテナ車・コンテナを新製・増備します

安全性及び輸送品質の向上を図るため、輸送機材の設備投資を積極的に行います。機関車は25両を新製し、コンテナ車は大型コンテナが積載可能なコキ106形式貨車を100両投入します。コンテナは、両側開きタイプの19D形式1,000個、妻側開きタイプの19G形式600個、背高タイプの20D形式200個、20ftタイプの30D形式100個、通風タイプのV19C形式100個の合計2,000個を新製し、輸送需要に適合したコンテナの提供及び輸送品質の向上を図ります。